



There to Tell the Truth

トランプ氏のウクライナ疑惑 弾劾調査で出た爆弾発言

ドナルド・トランプ大統領の弾劾に関して米下院情報委員会で行われた公聴会の最終日に、またもや重大な証言が飛び出した。2019年11月20日に行われた第5回の公聴会で特に注目を集めたのは、国家安全保障会議の欧州・ロシア担当上級部長のフィオナ・ヒル氏。今回のウクライナ問題の鍵を握るとされるソンドランド駐EU大使を称して「国内政治の使い走り」をしていたとやゆし、物議を醸している。



番組ホスト

アンダーソン・クーバー

1992年、教育向けニュース・チャンネル、Channel Oneでキャリアをスタート。95年、28歳のとき、最年少特派員としてABCと契約。その後、同局の「ワールド・ニュース・ナウ」などの看板番組のアンカーを務める。2001年12月、CNNに入局。05年、ピープル誌が選ぶ「セクシーで頭の切れる男性」の1人に選ばれる。1967年生まれ、ニューヨーク育ち。

ゲスト

リー・ウロスキ

1968年、ニューヨーク生まれ。ハーバード大学卒業。法学博士。これまで、米大統領3代のもとで国家安全保障に関わる要職を歴任。オバマ政権下では約1年半にわたってグアンタナモ刑務所閉鎖担当国務省特使を務めた。2016年、オバマ大統領から「大使」の称号を授けられた。現在は、ボイス・シラー・アンド・フレクスナー法律事務所のパートナー弁護士。民主党员。



76 ソンドランド氏は「国内政治の使い走り」だった

Good evening. We begin tonight at the end—the end, for now, of House impeachment testimony in the Intelligence Committee. One of the witnesses today was David Holmes, political-affairs counselor at the US embassy in Kiev.

But the star was Fiona Hill, former senior director for Europe and Russia at the National Security Council. Dr. Hill had a front-row view from inside the White House as portions of the country’s foreign-policy and national-security institutions were used or co-opted into serving what she says she recognized to be the president’s personal political agenda.

Here’s how she describes Ambassador Sondland’s role:

“He was being involved in a domestic political errand, and we were being involved in national-security foreign policy, and those two things had just diverged. And I did say to him,

House:
(米連邦議会) 下院
impeachment:
弾劾
testimony:
証言、供述
(House) Intelligence Committee:
(下院) 情報(特別)委員会
political-affairs counselor:
政務参事官
US embassy in Kiev:
駐ウクライナ米大使館
▶Kiev(キエフ)はウクライナの首都。
senior director for Europe and Russia:
欧州・ロシア担当上級部長
National Security Council:
= NSC (米) 国家安全保障会議
portion:
一部、部分
foreign policy:
外交政策
national security:
国家安全保障
co-opt:
①《co-opt...into doing》
~するために...を転用する
②~を転用する
recognize...to be:
...が~であると認識する、理解する
ambassador:
大使
be involved in:
~に従事している
errand:
使い走り、使い
diverge:
分かれる、乖離(かいり)する

こんばんは。今夜の番組は終わりから始まります。弾劾調査における下院情報特別委員会の(公聴会での)証言はとりあえず終わりです。今日の証人の一人は、デービッド・ホームズ氏、在キエフ米大使館の政務参事官でした。

しかし、最も注目を集めたのはフィオナ・ヒル氏、国家安全保障会議の元欧州・ロシア担当上級部長でした。ヒル博士が政権内部での最前列で目撃してきたこと、それは国の外交政策組織や国家安全保障制度の一部が、彼女が「大統領の個人的政治目的」と理解していたことのために用いられていた、あるいは、転用されていた様子でした。

彼女はソンドランド(駐EU)大使の(そのときの)役割をこのように述べました。

「彼は、国内政治の使い走りに関わっていましたが、私たちは国家安全保障に関わる外交政策に取り組んでいました。この二つはちょうどそのときに分岐したのです。私は、彼にこう言